

# 足立区青少年委員会だより



区の花：チューリップ

# あだち

第 67 号

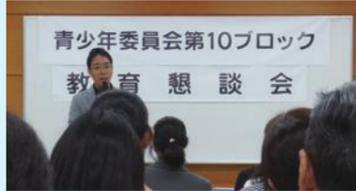
令和元年 9 月 24 日

編集発行  
足立区青少年委員会  
広報部

足立区教育委員会  
青少年課

<http://adachi-seishounen.jp>

## 時代は「令和」へ 輝け！あだちの子供たち



10 ブロック



11 ブロック  
全てのブロックで教育懇談会を開催



「令和への挑戦～New Generation」  
西保木間小学校 令和元年度 運動会



7月の役員会

青少年委員会は、これからも教育懇談会を通じて、学校・地域と共に、子供たちが抱える様々な問題に取り組んでまいります。

今年度の教育懇談会報告書も完成しました。詳しくは足立区青少年委員会ホームページに掲載されておりますので、どうぞご覧ください。

今年も青少年委員会教育懇談会が6、7月にかけて区内13のブロックで開催されました。青少年の健やかな成長には家庭・学校・地域の連携は欠かせません。懇談会は校長先生、PTA会長、開かれた学校づくり協議会会長をはじめ地域の教育関係・育成団体など皆さまのご出席をいただき、協議や情報交換、研修などを行う学習の場であり、地域の繋がりを密にする場でもあります。日程調整やテーマの設定、会の進行など準備は簡単なことではありませんが、ブロック独自のカラーも取り入れて毎年開催しています。継続することでお互いの理解も深まり信頼関係も増すことでしょうか。青少年委員の役割も知っていたら良い機会です。

教育懇談会は、昭和の終わりに始まり平成から令和へと続いてきました。青少年委員会の伝統ともいえるこの懇談会が今後も引き継がれてまいりますことを心より願っています。

今年度の教育懇談会報告書も完成しました。詳しくは足立区青少年委員会ホームページに掲載されておりますので、どうぞご覧ください。

## 教育懇談会



足立区青少年委員会 会長

下川 佐智子

## 研修部の活動

研修部長 竹田 春彦

7月8日、区庁舎大会議室においてフォローアップ研修会を開催しました。『青少年委員として1年間の活動を振り返って』をテーマに、グループディスカッションを行い、今後の取り組みについて青少年委員としての役割が理解し合えたのではないかと思います。

青少年委員一人ひとりの考えを広め、意見交換を行いながら委員活動の助けになる企画立案を推進してまいります。

また、今後の活動として11月は全体研修会、2月に日帰り研修会を計画しております。

これからも研修会を通じて、さらなる向上心をもって積極的に活動し、学校・地域と連携して青少年の健全育成に全力で取り組んでまいります。

## フォローアップ研修会



グループディスカッション



発表

研修を終えて 6ブロック 天野倉 典子

グループディスカッションを行い、たくさん話を聞くことが出来ました。その中で、青少年委員としてまだまだ知られていない人が多いという話があり、それが課題なのではないのかと感じました。

話し合いの中で、「学校の行事だけではなく、時間がある時に少しでも学校に行き、校長先生と話をする機会が多くなる事で、先生方にも認識されて知られていく」との話もありました。私は今後の目標として、まずは知ってもらえるように活動をしていき、自分の出来る事が見つければ良いのではないかと思います。

世の中は、東京2020に向けて着々と準備が進んでおります。平成から令和へと新しい時代になり、広報部も気持ち新たに、さまざまな情報を発信してまいります。

これからは皆様のご支援とご協力を賜りたく、宜しくお願いいたします。

広報部副部長 森岡 裕子

青少年委員は、学校や地域等に深く関わり、子供たちの健全育成に努めています。

しかし、私たちがどのような活動を行い、どのような行事に参加協力しているのかは、あまりご存知ない方が多いのではないのでしょうか。本広報紙やホームページを通して私たちの活動をご理解いただけるように、わかりやすく、興味をもちたくなるような内容と紙面づくりを心掛けていこうと思います。

世の中は、東京2020に向けて着々と準備が進んでおります。平成から令和へと新しい時代になり、広報部も気持ち新たに、さまざまな情報を発信してまいります。

## 事業部の活動

事業部長 原田 勉

6月9日、毎年恒例の事業部主管事業である第25回青少年健全育成団体親睦ソフトボール大会を開催する予定でしたが、前日から降り続いた雨の影響により、ソフトボール大会を中止し、ビーチボールバレー大会を栗原北小学校で開催いたしました。

青少年委員会チームは、長い本大会の歴史の中でも優勝をしていない数少ないチームであったことから、今年こそはと気合を入れて戦った結果、25回目の大会にして、Aチームが初優勝、Bチームが第4位という好成績を収めることができました。この成績は、出場した選手のみならず、青少年委員会チーム全員が一丸となって勝ち取った栄光であり、事業部としても誇れる活動となりました。

## ビーチボールバレー大会



スロ推より優勝校返還



体育館いっぱい準備体操



自熱の試合の数々



《試合結果》 優勝 青少年委員会A  
2位 中学校校長会B 3位 小P連A 4位 青少年委員会B

## 編集後記

子供たちが輝く地域づくりのために

足立区教育委員会青少年課長 下河邊 純子



青少年委員の皆様には、日頃からコーディネーター役としての役割を担っていただきながら、子供たちの健全育成のため、様々に取り組んでいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

安心して勉強や遊びに取り組める「将来こんなことがしたいなあ」と夢を持てる環境が、子供たちにとっては何より大事なことであります。今や、科学技術が進み生活はどんどん便利になってはいますが、文明の利器も使い方を一歩間違えば凶器となることもありま。令和の新時代に、子供たちの安全・安心を守っていくには、青少年委員の皆様の活動の一つひとつに意義があり、欠かせないものであると確信しております。青少年課職員一同、皆様と手を携え子供たちのために力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

子供の安心安全

2ブロック 田中 則聡

7月19日、江北桜中学校において、警視庁台東少年センターの遠藤晋之介様を講師にお迎えし、まずSNSを利用した様々なトラブルのDVDを視聴させていただいた後、詳しく説明をしてもらいました。



会場の江北桜中学校

ブロック教育懇談会

7月18日、梅島マールにて、足立区区民参画推進課の寺島課長を講師としてお迎えして講演会を開催しました。タイトルは「多様な性」ってなんだろう（LGBTに關する基礎知識）です。講話は男女共同参画社会の話から始まり、性的マイノリティ（LGBT）へとつながっていきました。LGBTとは決して性や恋愛だけの話ではなく、その人の生き方や在り方に関わる問題でもあり、人生全般にわたり影響してくる問題である事。人は性の三要素から性的アイデンティティが決まり誰もが多様な性の概念を持つ事それは特別なものではなく、他人と違うからと言って病気ではないと言う事でした。

多様な性を認め『その人がその人らしく生きる権利』を何よりも大切に尊重しあう事が大事である事を学びました。



日本における「自分がLGBTだと考える人」の割合約8.9%（電通「ゲイ・ティーン・LGBT調査2018より」）

福祉施設見学

10ブロック 芦川 雅良

7月4日、10ブロックは社会福祉法人あだちの里が運営する「竹の塚福祉園」と「竹の塚ひまわり園」へ見学に行きました。両施設とも「障がいを持った方々が地域と共に笑顔で生活ができるよう応援する」をテーマとし、専門療法による支援や、将来的には一般企業への就労を目的としたプログラム等も充実していました。



季節の飾り付け

施設内では自主生産品を製造販売していて、特にパンは地域の大手スーパーでも取り扱うほどの目玉商品です。また心のケアにも力を入れ、年間を通じ、お祭り等様々な施設内外のイベントも行うなど常に「利用者のために」寄り添い、支援している施設であると感じました。



「昭和の家」(西保木間)は昭和14年に建てられた洋館付和風住宅である「縁側カフェ」はどの席からも緑豊かな庭園が見え、80年の歴史を感じる、ゆったりとした癒しの空間でした。

学習支援拠点「アダチベース」

広報部 遠山 辰雄

足立区では「居場所を兼ねた学習支援」事業を区内4拠点で実施しています。7月9日、拠点のひとつで認定NPO法人カタリバが足立区から受託し、運営する「アダチベース」を取材しました。安心と自信と希望を育む「安全基地」となることを目指す「アダチベース」は、何らかの困難を抱えた子供たちのための居場所と位置づけで活動しています。



アダチベース 加賀さん、野倉さん  
加賀さんは東日本大震災後「カタリバ」と出会い、被災した子供たちの放課後学校を立ち上げる。その後足立区へ。対象は保護者が仕事で帰りが遅い、兄弟姉妹がいて家で勉強できないなどの理由で家庭での学習が困難な中学生と、施設を卒業した高校生。

施設開所日は月曜を除く週6日間。側に寄り添うかたちで個人の学習のつまずきに対応しつつ、学習進度や理解度に合わせた個別の授業体制をとっています。食事支援は平日の夕食、休日は昼食・夕食の2食で無料です。調理はスタッフだけでなく地域のボランティアとフードバンクにも協力してもらっています。作りたて



ち切る原動力となり得る取り組みであると確信しました。

取材後記

途中でお茶を出してくれたスタッフの大学生は夏休みを利用して足立区にルームシェアをして事業に協力しています。

「美味しいものを作ってあげたいんです。子供が好きなんです」と語る調理スタッフ。ご主人も福祉施設で活動されているとのこと。

見えないところで子供たちのために真剣に取り組んでいる多くの方に接し、心洗われる思いに至り、青少年委員として区の施策実現のため、何かしらの力になりたいとの思いを胸に刻み、取材を終えました。靴を履いている時、一人ひとりに掛けてくれる子供たちの「さようなら」の音が明るく胸に響き、この施設から巣立った彼らが、社会に出てリーダーシップを取って活躍する姿を見る日が遠くないことを確信しつつ、帰路につきました。

わんぱく相撲大会

12ブロック 倉持 智光

第43回わんぱく相撲足立区大会が、5月12日、伊興地域体育館で開催されました。青少年委員会も後援をし、応援しています。

この大会は毎年足立区在住の子供たちが、各学年、性別にわかれて優勝を争い、4年生から6年生の優勝者においては6月の東京都大会、8月の全国大会出場につながる重要な大会でもあります。

今回は幼児から6年生まで総勢約200名が参加しました。保護者をはじめ小学校の校長先生方も駆けつけてくださり、たくさんの応援の中、子供たちの熱い戦いが繰り広げられました。

我が家の6年生の次男も参加しました。相撲は礼儀、思いやり、感謝することを教えてくれます。相撲を通じて親子ともども成長させていただいていると感じます。皆様も一度、一生懸命に頑張っ



力強い選手宣誓

学校と地域を結ぶ「第十一中花むすび活動」

5ブロック 前島 政章

「花むすび活動」は18年前に学校と地域が連携し、豊かな心を育てる、花を育て美しい町にすることを目的にスタートしました。毎月、第4土曜日の午前中に生徒、地域の方々、PTA、開かれた学校づくり協議会を中心に総勢30名近くのメンバーで行っています。

生徒たちが校内で花を植え、日々水やりをしています。校門前の花壇は協議会メンバーが担当し、学校行事（入学式、卒業式等）に合わせて美しい花を育てております。今後も継続して活動を行ってまいりますので、是非、みんなで育てた十一中の花壇を見に来て下さい。



6月22日の花むすび活動

当日は年2回のイベント、お茶会・頒布会を開催しました。十一中の和室で地域の皆様に参加していただきお茶会を開催し、生徒たちが育てた花を2株持ち帰ってもらっています。毎回、地域の方が50名以上来校しています。